

計画の名称	第2期：生きがいと安心の生活を目指した、だれもが暮らしやすいまちづくりのための快適な道路環境の整備												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	滝沢市												
計画の目標	1 地域経済基盤と地域間交流を確立する基盤づくり 学術研究機能の集積を活かしたIT産業・ものづくり産業の創出、地域資源を活かした地場産業の振興を図るため、産業経済活動と地域間交流を支える基盤づくりを行う。 2 生きがいと安心の生活をおくるための基盤づくり 生きがいと安心の生活をおくるため、通学児童・生徒が利用する道路の歩道設置、交差点改良を進め、快適で安全な地域社会を実現する基盤づくりを行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	718	A	718	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	市道の改良率			
	市道の改良率 (改良済市道延長) / (市道総延長) × 100	61%	61%	62%
2	歩道の整備率			
	歩道の整備率 (歩道整備済延長) / (市道総延長) × 100	13%	14%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	雪寒	滝沢市	直接	滝沢市	市町村道	除雪	(他)牧野林工区1号幹線 外15路線	除雪 33.7 km	滝沢市						50	未策定	
	A01-002	道路	一般	滝沢市	直接	滝沢市	市町村道	新設	(他)第6湯舟沢線	新設改良 0.6 km	滝沢市						170	未策定	
	A01-003	道路	一般	滝沢市	直接	滝沢市	市町村道	改築	(他)向新田線	道路改良舗装 0.8 km	滝沢市						498	未策定	
												小計						718	
												合計						718	

交付金の執行状況

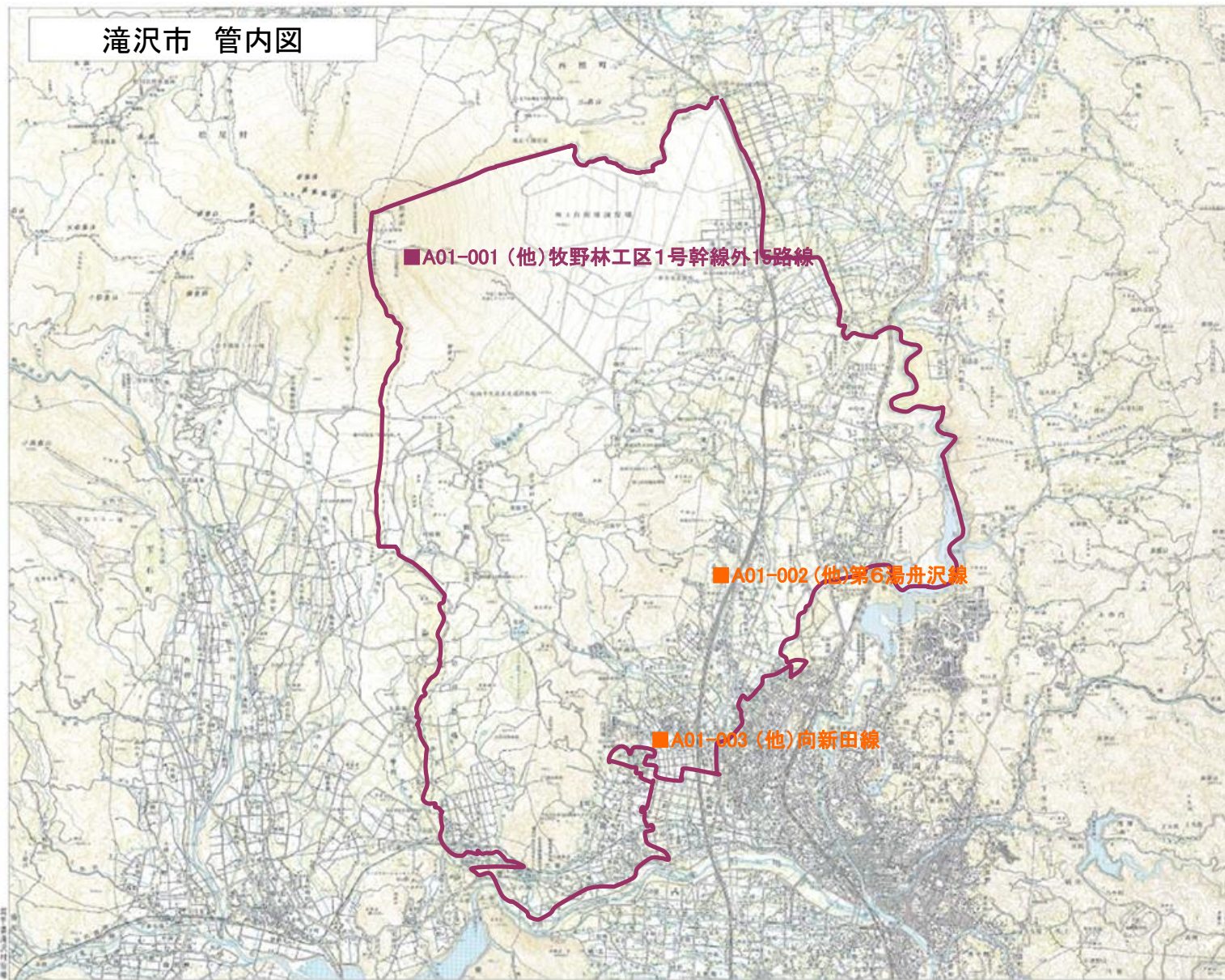
(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	36	0			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	36	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	13			
支払済額 (e)	23	13			
翌年度繰越額 (f)	13	0			
うち未契約繰越額(g)	13	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	36.11	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議に不測の時間を要したため				

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	第2期：生きがいと安心の生活を目指した、だれもが暮らしやすいまちづくりのための快適な道路環境の整備		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 (5年間)	交付対象	岩手県 滝沢市

滝沢市 管内図



【凡例】

- 地方道路整備事業(A)
 - △ 関連社会資本整備事業(B)
 - 効果促進事業(C)
- 《事業識別》
- 改築系
 - 区画・街路
 - 補修系
 - 交安系
 - 除雪

事前評価チェックシート

計画の名称： 第2期：生きがいと安心の生活を目指した、だれもが暮らしやすいまちづくりのための快適な道路環境の整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 1) 市の総合計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 2) 滝沢市都市計画マスタープランと整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 計画区域の課題への対応 1) 計画区域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 計画区域の課題への対応 2) 計画区域の課題解決のための事業が選定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果を発揮できる内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 基幹事業の必要性が整理されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 関連事業の目的が明確である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業の内容に関し、地元で事前説明が行われている。	○